

沿岸各地の水温

(3月16～20日)

日本海 8℃台
陸奥湾 5～8℃台

津軽海峡 7～9℃台
太平洋 6～7℃台

今回は深浦、青森、階上、青湾ブイで降温し、そのほかの海域では昇温しました。平均前回差は+0.3度となっています。

昨年と比べると、日本海側、太平洋側で-0.3度、津軽海峡側で-0.2度、陸奥湾内で+0.04度、太平洋で+0.7度となっており、平均昨年差は+0.6度でした。

平年と比べると、日本海でかなり高め、津軽海峡でやや高め、その他の海域では平年並みとなっています。平均平年差は+0.7度でした。

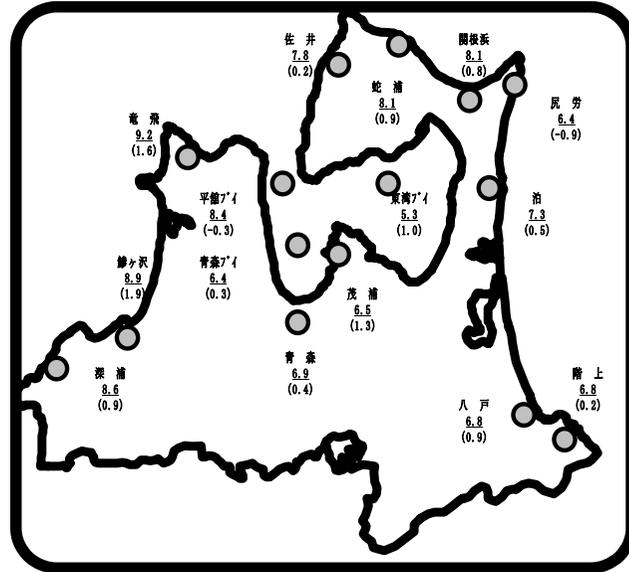


図 定地水温 (3月16～20日)
平均値 (平年差) ブイ 1m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	8.6	+0.9	+0.0	-0.9
鮎ヶ沢	8.9	+1.9	-0.5	+1.0
竜飛	9.2	+1.6	-0.1	+0.2
佐井	7.8	+0.2	-0.8	+0.1
青森	6.9	+0.4	-0.9	-0.3
蛇浦	8.1	+0.9	+0.0	+1.4
関根浜	8.1	+0.8	+0.1	+0.7
尻屋崎	6.4	-0.9	-1.4	+0.0
泊	7.3	+0.5	-0.7	+0.5
八戸	6.8	+0.9	+0.4	+0.6
階上	6.8	+0.2	+0.7	-0.2
茂浦	6.5	+1.3	+0.3	+1.1
平舘ブイ	8.4	-0.3	+0.1	+0.7
青森ブイ	6.4	+0.3	-1.0	+0.0
東湾ブイ	5.3	+1.0	+1.7	-0.2
平均	7.4	+0.7	-0.1	+0.3

太平洋の海況 (3月19～22日)

概況；沿岸水温は6～7℃台

○太平洋沿岸域の表面水温

前回より1度ほど降温し、前年同期と比べ同程度の水温となっています。

○津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し

7℃等温線で見ると東経141度付45分付近までと、前回より弱まっています。

○親潮系冷水の南下

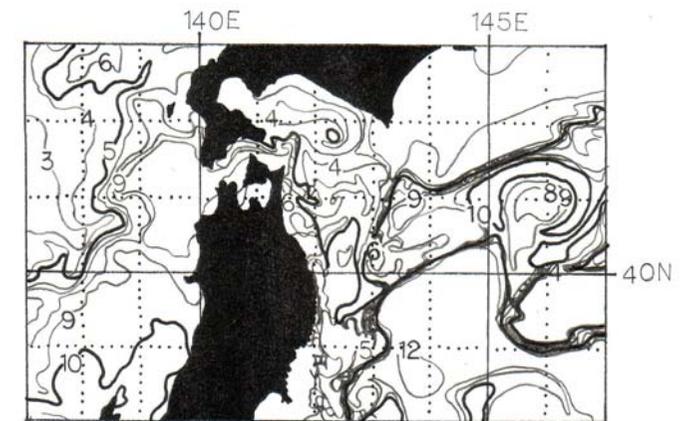
5℃等温線で見ると北緯38度00分付近までと、南下は前回より弱まっています。

日本海の海況 (3月19～22日)

概況；沿岸水温は8～9℃台

○日本海沿岸域の表面水温

前回より1度ほど降温し、前年同期と比べ1度ほど高い水温となっています。



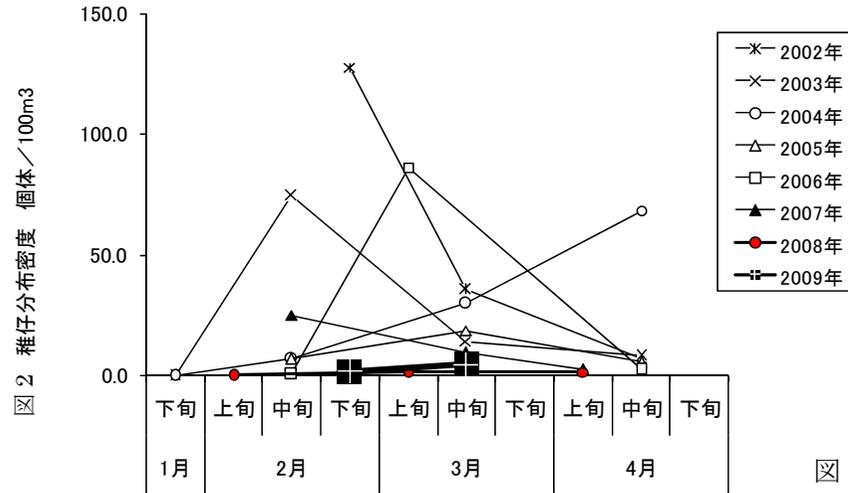
資料：(社) 漁業情報サービスセンター
北部太平洋海況情報 第100号 3月23日

●尻屋崎地先の水温

	水深1m	水深5m	水深10m
2月21～25日	7.54	7.59	7.60
2月26～28日	8.04	8.10	8.10
3月1～5日	7.30	7.37	7.38
3月6～10日	6.30	6.36	6.38
3月11～15日	6.50	6.57	6.57
3月16～20日	7.52	7.57	7.56
前回差	+1.01	+1.00	+0.99

◎イカナゴ稚仔分布調査結果 (陸奥湾～津軽海峡)

2009年3月10～12日に試験船青鵬丸によるボンゴネット往復傾斜曳(水深0～50m)で陸奥湾～津軽海峡でのイカナゴ稚仔分布調査を行いました。その結果、3月の採集個体数は61個体(図1)。稚仔分布密度は4.6個体/100m³(図2)で、例年より少ない数でした。



4月に引き続き調査を予定しておりますので、今後の情報を参考にしてください。

◎平成20年海面漁業月別漁獲数量・漁獲金額調査(年報)の概要

青森県の漁獲数量は260,324トンで、漁獲金額は529億1,253万円となった。これを前年と比較すると漁獲数量で35,370トン(12.0%)減少し、漁獲金額で43億444万円(7.5%)減少した。

漁獲数量を月別にみると、9月が37,301トンで最も多く全体の14.3%を占め、次いで8月の32,028トン(12.3%)、7月の28,497トン(10.9%)となっている。漁獲金額は、9月が60億2,655万円でもっとも多く全体の11.4%を占め、次いで8月の54億2,194万円(10.2%)、11月の53億6,395万円(10.1%)となっている。

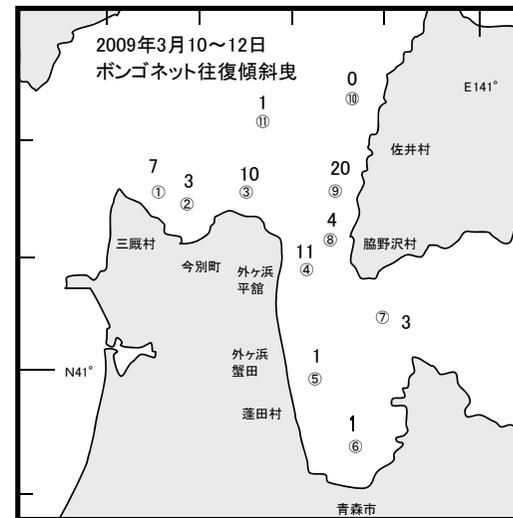


図1 ボンゴネット水深0～50m 往復傾斜曳によるイカナゴ稚仔採集個体数
(①～⑪: St.No., 数字: 採集個体数)